

1 八幡JCT工事

新名神高速道路と第二京阪道路が接続する八幡JCT盛土造成や橋脚工事をしています。全50基の橋脚のうち、現在13基が完成し、残りの橋脚も引き続き施工していきます。



2 京田辺高架橋東(下部工)工事

木津川橋から八幡JCTへつながる高架橋(全延長約1590m橋脚全105基)で、この工事では全体の約7割に当たる1053m・72基の施工をしています。現在は橋梁の橋脚工事を進めており、39基の工事に着手しています。



3 木津川橋(下部工)工事

木津川の河川内で橋脚工事をしています。工事は毎年、非出水期の10月中旬から翌6月中旬の間に、現在2基の基礎工事が完了しました。



4 城陽JCT工事

城陽JCT付近では、埋蔵文化財調査を実施しています。今後は、調査が完了した箇所から盛土造成や橋梁の橋脚工事を行っていきます。



新名神京都事務所担当区間 17.7 Km

城陽JCT・IC～八幡JCT・IC間 ▶ 工事段階 (平成28年度完成目標)
 大津JCT～城陽JCT・IC間
 八幡JCT・IC～高槻第一JCT間 ▶ 測量・調査段階

各地区の進捗状況

市町村名	担当組織	地区名	建設事業の流れ				
			事業説明会	調査・測量	用地取得のための道路構造等地元説明	道路用地の調査・交渉・取得	工事
八幡市	京田辺工務区	美濃山	完了	調査中			
		美濃山(先行)		9割			工事中
		松井		9割			工事中
		大任・西八		9割			工事中
京田辺市	京田辺工務区	工専地区～木津川		8割			工事中
		木津川～水主		9割			工事中
城陽市	城陽西工務区	寺田(先行)		9割			工事中
		寺田	完了				調査中
		富野	完了				調査中
宇治田原市	宇治田原工務区	中	完了				調査中
		奈島	完了				調査中
		郷之口	完了				調査中
宇治田原町	宇治田原工務区	荒木	完了				調査中
		岩山	完了				調査中
		禅定寺	完了				調査中

事業の概要

新名神高速道路(路線名:近畿自動車道名古屋神戸線)は、名古屋市を起点として神戸市に至る174kmの高速道路です。各神高速道路、中国自動車道など周辺の高速道路とともに、近畿圏と中部圏を結ぶネットワークを形成します。これにより高速道路に求められる[高速性][定時制][快適性][安全性]などの機能を高めるとともに、沿道及び西日本の広域医療・観光・文化交流など地域の経済・住民生活への貢献も期待されます。新名神京都事務所では、京都府域の17.7kmを担当しています。

Point 1 地域の活性化

主要都市とのアクセスが向上し生活圏が拡大することで、都市間同士、あるいは都市と地方との交流が盛んになり、物流や観光産業の活性化が期待されます。

Point 2 交通混雑の緩和

国道等の自動車が高次緊急医療機関へ新名神に転換することで、生活道路の交通混雑の緩和が見込まれます。さらには事故の減少による生活環境の改善にも寄与します。

Point 3 緊急活動の支援

新名神の利用により、高次緊急医療機関への搬送時間が短縮され、状況に応じた医療施設の選択の幅が広がります。

現状ルート (一般道→京滋バイパス→阪神高速) 約29分
 整備後ルート (宇治田原ICより新名神) 約20分
約9分短縮

※本誌における新名神のJCT(ジャンクション)IC(インターチェンジ)構造物の名称はすべて仮称です。